

【今年度の取組目標等に関する自己評価】

① 学習指導

【成果】

- 教務部が計画的に研修を行い、教員相互や若手の授業参観が組織として行われた。
- 若手教員を育成するための【たけのこ会】が結成された。

【課題】

- ICT教育の活性化、オンライン教育の充実を図るとともに、一人1台端末の活用の推進を図る。
- 英検資格取得を推進し、英語教育の推進を図る。

・数値目標(カッコ内は目標値)

英語の合格者数	:	2級0名(3名)
	:	準2級3名(10名)
	:	3級1名(15名)

② 進路指導

【成果】

- 本校独自の系統的進路指導「夢・人プラン」は安定的に推進することができた。
- 進路指導に対する生徒の肯定的評価は、昨年度62.8%から65%に若干改善された。

【課題】

- 進路決定率は、88.4%で微減だが、ほぼ9割を維持している。

・数値目標(カッコ内は目標値)

大学・短大進学率	:	44.4%(45%)
生徒の進路決定率	:	88.4%(90%)
生徒の進路指導に関する肯定的評価	:	65.0%(70%)
検定試験(リテラス)の合格者数	:	準2級 78名(100名)
		3級 158名(140名)
		準3級 29名(35名)

③ 生活指導

【成果】

- 組織的な生徒指導を推進し、特別指導件数を減少させることができた。

【課題】

- 身だしなみ指導における、日常的な取組みに創意・工夫が求められている。
- 1日あたりのクラス平均遅刻人数は、昨年比ほぼ同数で改善が求められている。

・数値目標(カッコ内は目標値)

朝のHR遅刻のクラス1日平均	:	4.1名(3名以下)
生徒の特別指導件数	:	8件(10件以下)

#### ④ 特別活動・部活動

##### 【成果】

- 体育祭は、感染症対策 5 類移行を受け、全学年合同でコロナ前を目指した行事として実施できた。
- 文化祭は、感染症対策 5 類移行を受け、全学年合同でコロナ前を目指した行事として実施できた。

##### 【課題】

- 部活動加入率は、昨年比ほぼ同様であったため、更なる加入率向上を目指したい。

##### ・数値目標(カッコ内は目標値)

部活動加入率	:70.5%	(70%)
生徒の体育祭満足度	:87.0%	(70%)
生徒の文化祭満足度	:79.0%	(70%)

#### ⑤ 心身の健康づくりの推進

##### 【成果】

- 「生徒の健康に関する理解促進事業」を活用し、産婦人科医の講話等を通して、生徒の特に性に関する知識等の理解が深まった。

##### 【課題】

- 特別支援教育に関する理解を、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が連携し深めているが、更なるより組織的な体制の構築が必要である。

#### ⑥ 募集・広報活動

##### 【成果】

- 学校ホームページに【今日の練高】新設、ほぼ毎日の本校の情報発信を積極的に行った。が刷新された。
- 学校説明会への参加者数が常に多く、対面での実施のほか、YouTube を活用したライブ配信を行った。また、部活動が学校紹介として発表を行った。
- 入選倍率は、中進対、推薦入試、一次入試とほぼ目標を達成できた。

##### 【課題】

- 引き続き本校の魅力の発信の強化に努める必要がある。

##### ・数値目標(カッコ内は目標値)

学校 HP 更新回数	:308 回(200 回)
------------	---------------

#### ⑦ 学校経営等

##### 【成果】

- 学校全体で、保護者対応を含め、生徒指導に取り組むことにより、大きな問題行動や苦情が激減した。

##### 【課題】

- 生徒の弱さに寄り添った丁寧な指導による学校改善(特別指導数減少、入試倍率向上)を更に推進し、中退者数を減少させる取組を強化する必要がある。

#### ⑧ ライフワークバランスの実現

##### 【課題】

- 人事、分掌配置の観点からも男性の育児休暇取得に関する啓発を推進する必要があると求められている。